

平成30年度 第2回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 平成30年12月6日(木) 10時～
場 所 湯梨浜町役場 第1・2会議室

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 委員紹介

4. 会長あいさつ

5. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るKPI及び具体的事業の進捗状況
と取組状況について

【資料1】湯梨浜町の人口動向

【資料2】湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

【資料3】総合戦略具体的事業一覧

(平成30年度事業進捗状況及び平成31年度実施方針)

6. その他

7. 閉 会

ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：平成29年5月27日～平成31年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考	
1	産	湯梨浜町商工会	会長	中島 守	
2	産	J A 鳥取中央	湯梨浜営農センター長	西村 好美	
3	産	株式会社 栄進工業	代表取締役	坂田 康則	
4	官	湯梨浜町	町長	宮脇 正道	
5	学	鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平	
6	学	東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章	
7	学	女性団体連絡協議会	理事	井土 美智子	
8	金	山陰合同銀行	羽合支店長	堀本 進吾	
9	金	鳥取銀行	羽合支店長	若山 敬之	
10	金	日本政策金融公庫	鳥取支店事業統轄	小野寺 仁史	
11	労	倉吉公共職業安定所	所長	福田 豊	
12	労	労働団体の関係者		加藤 一	
13	労	労働団体の関係者		野口 智恵子	
14	言	新日本海新聞社	編集部報道課デスク	石原 美樹	
15	公募	男性公募		中森 圭二郎	
16	公募	女性公募		大羽 由美子	

17		鳥取県中部総合事務所 地域振興局	参事（中部福祉保健局副局長）	小濱 洋明	コンシェルジュ（湯梨浜町担当）
18		湯梨浜町	副町長	亀井 雅議	
19		湯梨浜町	副町長（地方創生担当）	仙賀 芳友	
20		湯梨浜町	教育長	土海 孝治	
21		湯梨浜町総務課	課長	重松 雅文	
22		湯梨浜町議会事務局	局長	川本 栄二	
23		湯梨浜町出納室	室長	森 輝信	
24		湯梨浜町建設水道課	課長	斎藤 聡	
25		湯梨浜町産業振興課	課長	西原 秀昭	
26		湯梨浜町企画課	課長	上井 明彦	
27		湯梨浜町町民課	課長	杉原 寛	
28		湯梨浜町子育て支援課	課長	杉原 美鈴	
29		湯梨浜町総合福祉課	課長	竹本 里香	
30		湯梨浜町健康推進課	課長	尾坂 英二	
31		湯梨浜町長寿福祉課	課長	山田 志伸	
32		湯梨浜町教育総務課	課長	岩崎 正一郎	
33		湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	丸 真美	
34		湯梨浜町中央公民館	館長	宮脇 一善	
35		湯梨浜町立図書館	館長	杉村 和祐	
36		湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	中山 明	
37		湯梨浜町みらい創造室	室長	遠藤 秀光	事務局
38		湯梨浜町みらい創造室	未来創造係長	嶋田 早智子	事務局
39		湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当係長	音田 将人	事務局
40		湯梨浜町みらい創造室	未来創造係主事	谷岡 雅也	事務局

参考資料：湯梨浜町の人口動向

資料1

○平成30年10月現在の出生数は前年に比べて大幅に減少(H29.10月現在出生数 106名)、死亡者数は前年並のため、自然減は前年より増加傾向にある。
 ○平成30年10月現在、町外からの転入は転出を上回っているため、社会増となっているが、県外からの転出入だけを見ると、社会減となっている。

1 自然動態の推移

【自然動態の推移】

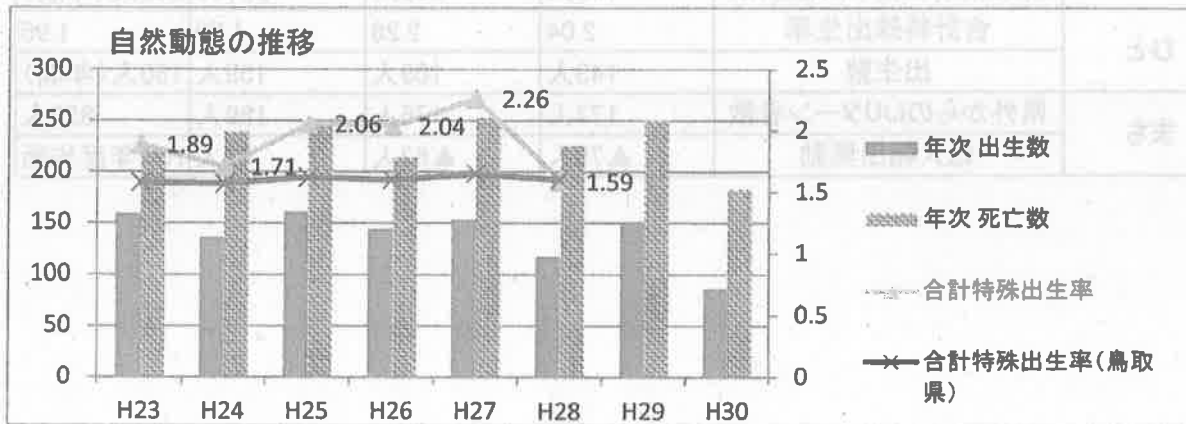
※H30については、10月1日現在

年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
自然増減	▲ 61	▲ 103	▲ 83	▲ 70	▲ 100	▲ 108	▲ 99	▲ 97
出生数	159	136	161	144	153	117	151	86
死亡数	220	239	244	214	253	225	250	183

【出生数と合計特殊出生率の推移】

※H30については、10月1日現在

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
出生数	159	136	161	144	153	117	151	86
前年比	159	▲ 23	25	▲ 17	9	▲ 36	34	—
合計特殊出生率	1.89	1.71	2.06	2.04	2.26	1.59	—	—
合計特殊出生率(鳥取県)	1.58	1.57	1.62	1.60	1.65	1.6	1.66	—

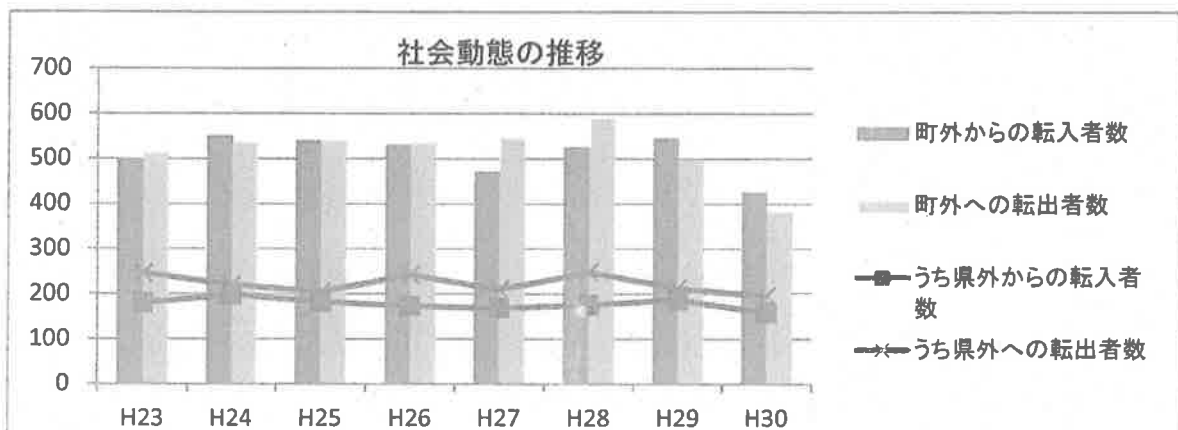


2 社会動態の推移

【社会動態の推移】

※H30については、10月1日現在

年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
社会増減	▲ 14	14	0	▲ 4	▲ 75	▲ 62	47	44
町外からの転入者数	500	551	540	531	472	527	545	426
町外への転出者数	514	537	540	535	547	589	498	382
うち県外転入増減	▲ 66	▲ 21	▲ 22	▲ 69	▲ 41	▲ 72	▲ 26	▲ 37
うち県外からの転入者数	180	199	183	173	169	176	187	159
うち県外への転出者数	246	220	205	242	210	248	213	196



出典：出生数、死亡数、転入者数…「鳥取県人口移動調査」

合計特殊出生率…人口動態調査(厚生労働省)をもとに県福祉保健課が算出

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

1. 取組状況の概要(平成30年度上半期)

取組が達成済あるいは計画どおり以上に進んでいる項目は約6割(59.2%、58/98項目)

評価区分	4年目上半期評価	(参考)3年目評価	(参考)2年目評価	(参考)1年目評価
A:達成済、事業完了	1	3	1	0
B:計画以上に進んでいる	7	6	7	21
C:計画どおりに進んでいる	50	53	58	35
D:計画より遅れている	39	36	26	18
E:未着手、未実施、先送りなど	1	0	2	1
合計	98	192	94	75

基本目標の進捗状況

項目		1年目実績	2年目実績	3年目実績	5年目目標値
しごと	温泉宿泊客数	167,885人	157,589人	154,570人	20万人(年間)
	新規就業者数(常用雇用)	189人	205人	227人	200人(年間)
ひと	合計特殊出生率	2.04	2.26	1.59	1.95
	出生数	143人	109人	159人	160人(年間)
まち	県外からのIJUターン者数	177人	176人	189人	850人
	転入転出異動	▲75人	▲62人	47人	H31年度均衡

項目	1年目実績	2年目実績	3年目実績	5年目目標値
温泉宿泊客数	167,885人	157,589人	154,570人	20万人(年間)
新規就業者数(常用雇用)	189人	205人	227人	200人(年間)
合計特殊出生率	2.04	2.26	1.59	1.95
出生数	143人	109人	159人	160人(年間)
県外からのIJUターン者数	177人	176人	189人	850人
転入転出異動	▲75人	▲62人	47人	H31年度均衡

事業名	計画内容	予算額	実績		KPI		H31の実施方針	担当課
			内容	執行済額	目標	達成率		
1 湯梨浜町総合戦略策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆ 総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 604千円 ◆ 戦略会議2回開催予定 48千円 ◆ 報告会、説明会、研修会への参加旅費 604千円 ◆ 消耗品の購入、郵送料 130千円 平成30年度も引き続き総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。	782	5月10日に本部会議を開催。H29のKPI、事業の達成状況、H30事業内容等を協議した。 6月6日に総合戦略会議を開催。H29のKPI、事業の達成状況、H30事業内容等を協議した。また、総合戦略を改定した。 6月議会へH29のKPI、事業の達成状況、H30事業内容、総合戦略改訂について報告。	140	総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する	50%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 第2回を12月に開催予定。	みらい創造室
2 農産物販路拡大及びブランド化推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 進物用パンフレットを見てJA等の生産者や役場に問い合わせをしてきた消費者が増えていることから、販路拡大につながるようパンフレットの作成を支援するもの。 【補助率】1/3以内 H28にパンフレットを大量(10万部)に印刷したため、H29は消費者の反応等を収集する期間とし、H30にそれらデータを元に見直しを協議し、新パンフレットの作成を行う。 ◆ 補助金(パンフレット作成支援) 306千円	306	今年度の二十世紀梨の出荷を終えた時点でのパンフレットの残数 約500部 来年度に向けて、一部デザインを変更して増刷する予定	0	梨の平均単価の単価増(最終的には全品目で+100円/10kg)	33%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 梨の全品目の出荷が終えていないため、平均単価が求められないが、二十世紀梨については前年比109%の単価がついた。	産業振興課
3 鳥取県等生産振興事業(農業生産現場強化事業)①	鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援するもの。 ◆ 補助金 7,308千円 内訳：生産基盤対策 54千円、連携ビニールハウス導入 6,000千円、果樹棚導入 1,160千円、育成促進対策 94千円	7,308	JAから町への補助金申請あり シャインマスカット 14本、7.2haの新植及び果樹棚、ハウスの整備 1件 鳥取県産ぶどう生産振興事業補助金の申請あり。 総事業費 8,760,000円(対して5,862,560円(県費4,380,000円 町費1,482,560円)の交付決定予定。	0	新品種(輝太郎)の新植面積の50a増	10%	【評価：D 計画より遅れている】 シャインマスカットの大量新植が1件あり、柿の新品種の新植には至っていない。	産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課	
	内容	予算額	内容	実績	達成率	評価			
4 鳥取梨等生産振興事業(農業生産現場強化事業)②	<p>【鳥取梨生産振興事業(地方創生)】(事業内容)県が注力している新品種(新甘泉、秋甘泉、王秋)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)・施設(果樹棚、かん水施設、園内道、SSなど)の整備を支援。</p> <p>【補助率】新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存の品種が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6)</p> <p>【対象者】町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合</p> <p>◆補助金 14,265千円</p> <p>内訳:新植補助 865千円、省力化機械導入補助 2,400千円、かん水施設補助 1,200千円、園内道整備補助 400千円、多目的防風網整備補助 2,800千円、パイプ棚整備 200千円、果樹棚整備補助 3,300千円、育成奨励金 1,400千円、低コスト・体制強化事業 1,700千円</p>	14,265	<p>JJAから町への補助金申請あり</p> <p>【総事業費】14,857千円</p> <p>【補助金】10,125千円</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>防除用機械 3,050千円、新植 1,508千円、改植 55千円、特許料 84千円、果樹棚 2,747千円、網掛け 2,453千円、棚</p> <p>117千円、排水施設 1,507千円、育成促進奨励金 1,586千円、省力化機械SS導入 1,750千円</p>	0	<p>対象農業者による省力化防除面積の20%増</p>	33%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>新品種の導入や棚等の設備の改修、機械の導入により、作業省力化への動きが計画的に進んでいる。</p>	<p>H31の実施方針</p> <p>特産の二十世紀梨の生産振興に合わせ、収益性の高い新品種とともに東郷梨の生産振興を図る。</p>	産業振興課
5 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業	<p>【地方創生推進交付金】(H27からの先駆型継続事業)後継者のいない梨園を借りて梨を栽培し、産地の維持に寄与するとともに規格外の梨を加工作品用に出荷する等で6次産業化を目指す取り組みに対して支援。</p> <p>【補助金】2,000千円(定額)</p> <p>【事業者】東郷梨地域連携栽培プロジェクトチーム(産官学農福による連携プロジェクト)</p>	2,000	<p>今年度の梨プロジェクト収穫実績</p> <p>【面積】70a</p> <p>【生産数量】25,003玉</p> <p>【売上げ】2,008千円</p>	0	<p>梨栽培面積30a増</p>	93%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>プロジェクトチームによる梨栽培面積</p> <p>H27 29a H28 38a H29 43a H30 70a</p>	<p>品質向上による収益体制を確立する。案件不利圏での梨の葉ビジネスの具現化を進める。</p>	産業振興課
6 二十世紀梨を守る事業	<p>【地方創生推進交付金】県事業の対象とならないオリジナルの二十世紀梨の苗木やハウス二十世紀梨の資材(苗木など)、ハウスの機能強化・強度向上に対して支援を行う。</p> <p>【補助率】1/2</p> <p>【対象者】町内で二十世紀梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合</p> <p>◆補助金 1,578千円</p> <p>内訳:苗木・栽培資材支援 78千円、ハウス更新、機能向上支援 1,000千円、果樹棚、かん水施設設置支援 500千円</p>	1,578	<p>8件の生産者がハウス二十世紀梨生産設備の補強材、被覆資材、灌水施設の改良を申請予定である。</p> <p>【予定事業費】</p> <p>総事業費 2,870千円</p> <p>補助金 1,435千円(事業費の1/2)</p> <p>【予定生産者】8人</p>	0	<p>新植またはハウスの機能向上面積を50a以上の増とする</p>	33%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>計画的にハウス二十世紀梨栽培の機能強化、強度向上につなげていく。</p> <p>今年度事業での受益者面積はとりまとめ中である。</p>	<p>ハウス二十世紀梨、二十世紀梨ともに年々販売単価が上昇しており、市場評価の高いブランド品であり、現在策定中の「梨産地再生プラン」に基づいて、引き続き町独自の生産振興を図っていく。</p>	産業振興課

事業名	計画 内容	予算額	実績		KPI 達成率	評価	H31の実施方針	担当課
			内容	目標				
7 湯梨浜版担 い手認定	<p>○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金：就農3年以内の対象者に定額30万円、④の新規就農者住宅家賃補助、③・④の1/2(上限2万円)を補助、 ○中古機械導入補助：中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助：農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)、①・②・③・④・⑤</p>	3,240	<p>○担い手認定件数 準認定新規就農者 0件 準認定農業者 0件 ○担い手ステップアップ支援事業活用実績 ①奨励金 0件 ②家賃補助 0件(交付決定1件80千円) ③中古機械導入 1件(300千円) ④機械修理 1件(93千円)</p>	393	100%	<p>【評価：B 計画以上に進んでいる】 新規就農の相談は3件あり、準認定新規就農者又は準認定農業者の認定には至っていないものの、認定農業者を4人認定した。</p>	<p>H31の実施方針 制度周知を図るとともに、担い手の確保を図る。</p>	産業振興課
8 中核的担い 手農家育成 奨励金交付 事業(農業 生産現場強 化事業)	<p>【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受け、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けした場合も対象としている。 町内者：2,000円/10a×年 町外者：1,000円/10a×年</p>	1,282	<p>○認定農業者等が3年以上借入した農地面積 約16.5ha(奨励金 約330千円)</p>	0	206%	<p>【評価：B 計画以上に進んでいる】 認定農業者への集積は順調に進んでいる</p>	<p>引き続き認定農業者への利用集積を図る。</p>	産業振興課
9 知的所有権 取得支援	<p>○知的所有権取得支援事業 知的財産権(登録商標、GIマーク、意匠権など)の申請・取得を希望する事業者に対して経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限15万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金150千円×1団体=150千円</p>	150	<p>「東郷梨」のGIマーク取得に向けた考え方や具体的な申請手続きについて、JA営農センターとともに農政局に出向き協議を行った。また、県内先進地との意見交換を行った。</p>	0	25%	<p>【評価：D 計画より遅れている】 東郷梨のGIマーク取得について、生産者団体の合意形成の必要性などポイントを整理した。</p>	<p>「東郷梨」のGIマーク取得について生産者団体との調整のうえ推進する。他の産物の取得についても、検討し可能であれば生産者団体に申請を促していく。</p>	産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	実績	達成率	評価		
10 パッケージデザイン作成補助事業	町内で製造された農産物の販売、または町内産の原料糖を使用した加工品を製造販売する際に必要な、商品のパッケージデザインを新たに行う事業者に対し、経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限8万円とす) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金 80千円×1団体=80千円	80	現在のところ申請受付なし。	0	0%	【評価】D 計画より遅れている 生産者団体等に制度説明を行うとともに、情報収集を行い新規申請を受けられるよう進める。	産業振興課	
11 砂丘農業復活プロジェクト事業	羽合砂丘地(畑)において、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に5haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。生産作物は芝(米産、ティフグラント)。また、次年に規模拡大する場合は、地権者との協議を実施する。 ・29年度に2.1ha利用権設定 ・30年度は引き続き残り2.9haを提示することを目標とする。	0	現在までに10.1haで実施中であるが、今年度の利用権設定面積0ha。	0	0%	【評価】D 計画より遅れている 利用権設定可能農地の提示をしているものの、芝の需要が予定より少なく、利用権の設定に至っていない。	産業振興課	
12 種苗放流支援事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 274千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 266千円	540	東郷湖漁協からの申請あり ○東郷湖漁協漁業振興費補助金 総事業費 1,418千円 274千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 総事業費 1,010千円 補助金 336千円 ※コシロ処理にかかった経費を追加計上	シジミ漁獲量 30t増	33%	【評価】C 計画どおりに進んでいる シジミ漁獲中であり、漁獲量を集計中	産業振興課	
13 沿岸漁業活性化推進事業	町内の漁業者が省エネルギー化により漁業経営改善を図るために、省エネ型エンジンを購入するための経費に対して補助支援する。 【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,800千円 内訳:ブランド構築のためのコーディネイト業務 1,800千円、新商品製造販売支援 1,000千円	0	県漁協に要望調査を依頼するが、今年度は現在のところ要望がない。要望があれば補正予算計上し対応する計画。	省エネ型エンジン搭載漁船:1隻増	0%	【評価】D 計画より遅れている 要望調査を行うが現在のところ実施見込みなし。	産業振興課	
14 海の駅とまりブランド化事業	【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,800千円 内訳:ブランド構築のためのコーディネイト業務 1,800千円、新商品製造販売支援 1,000千円	2,800	◆補助金 ・ブランド構築のためのコーディネイト業務=1,800千円(交付決定額)、600千円(概算払い済み額) ・新商品製造販売支援=申請なし ⇒申請予定の事業者が、本業の事業見直しなどを行うことになったため。	オリジナル商品の開発:3件 600	33%	【評価】C 計画どおりに進んでいる 新商品製造販売支援については海の駅協議会の活動事業の中で制度活用を行い地域活性化に役立てる計画である。	産業振興課	

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画内容	予算額	実績		KPI達成率	H31の実施方針	担当課
			執行済額	目標			
15 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。H30年度はドイツ語、フランス語、イタリア語の3言語版を追加。 ◆多言語DVD作成委託料 551千円 ◆章辨翻訳料 216千円	767	◆多言語DVD作成委託料＝389千円(契約額) ◆章辨翻訳料＝1言語分完成し45千円支払済み、2言語分翻訳依頼済み	45	30%	グラウンド・ゴルフの国際化推進に併せて、必要な多言語化を実施する予定。	産業振興課
16 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とまりこコースの芝生の改設 58,699千円 ◆レストラン外構工事 2,970千円 ◆施設内外の看板再整備 3,503千円	65,172	◆レストラン外構工事 2,754千円(契約額)	2,754	30%	計画どおり、潮風の丘とまりこコースの芝生の張り替え、コース内のトイレの改修等を行い、聖地化を進める。	産業振興課
17 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	【地方創生推進交付金】 委員会を通じた国際大会の開催・国際組織設立に向けた検討・用具海外販売促進を実施する。 ◆PR活動4,077千円 ◆国際大会関連3,730千円 ◆国際組織設立検討1,063千円 ◆用具海外販売促進2,700千円	11,570	◆PR活動2,265千円 海外PR・モンゴル、マレーシア ◆今後の予定：韓国・済州、中国・上海 ◆国際大会関連3,200千円 実行委員会に対し2,830千円交付決定済(うち概算私2,000千円) 参加者宿泊費助成1,200千円 ◆国際組織設立検討474千円 ◆用具海外販売促進825千円(委託料部分私) 湯梨浜まちづくり(株)に委託業務を発注2,154千円。11月には海外販売体制を確立する。	6,764	30%	・GGが普及していない国を中心にトップセールスを実施する。 ・国際大会時の意見交換会を、日本GG協会と連携し、国際組織設立の場とする。 ・用具海外販売を軌道に乗せる。 ※本年度初めて、国際大会の日程を変更したため、参加者数等の減少につながったと思われる。	みらい創造室
18 ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進①	【地方創生推進交付金】 町の認定したウォーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指す。 ・ゆりはま天女ウォーク(実行委員会補助金) 湯梨浜町ウォーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 ●実行委員会補助金 -PR経費(チラシ・ポスター制作他) 1,450千円 ・海外プロモーション 2,616千円 ・オレルレ負担金 2,000千円	6,066	・ゆりはま天女ウォーク 10/14開催予定 参加者募集中 ・多言語版ウォーキングマップ作成に向けて会議開催(8/30,9/6) ・「海外プロモーション」は、韓国(済州島)への訪問を調整中(11月訪韓予定) ・「オレルレ負担金」は、取り止める。	0	30%	町のウォーキングリゾートに関しての方向性を検討し、その結果により目的を達成できる施策を考える。	健康推進課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価		
19 アロハカーニバル 事業【1.③商工 業の振興にも掲 載あり】	本町にある現合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風のアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、スタンプラリー等の読者関連の取り組みを行い、本町の観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オーブニングイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 505千円 イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	1,250	◆補助金概算払い 1,250千円 H30.7.7 オーブニングイベント 大雨で中止 H30.7.7~8.15 19店舗で限定メニューを提供 H30.7.7, 7.8 ハワイアンフェスティバルでイベントPR及びコナコヒー販売 H30.8.25 ガイナーレ鳥取湯梨浜ホームタウンアワードでコナコヒー販売	1,250	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 7月7日に予定していたオーブニングイベントは大雨のため中止となったが、7月7日から8月15日まで、19店舗でどんぶりやスイーツなど限定メニューを提供した。提供数は2,890食。	産業振興課		
20 天女のふる里づくり事業①	・東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」として5か年計画で実施してきた事業の一層の伸展に向け、①緑化・植花の取り組み、②天女を活用した観光振興の二つを柱とした東郷湖を中心とする活性化事業について重点的に進めていく。地域おこし協力隊を1名任用し、事業推進にあたる。 ◆非常勤職員報酬 1,992千円 ◆社会保険料 326千円 ◆委員報償費等 196千円 ◆委員旅費 128千円 ◆消耗品 20千円 ◆通信運搬費 20千円 ◆交付金 1,674千円	4,536	①地域おこし協力隊を新たに配置し、緑化の取り組みを進めていく計画であり、年度当初から隊員の募集を行っているが、任用に至らず、現在3次募集を行っている。地域のボランティア団体とともに天女様の環境整備活動を行ったのみで、緑化の取組みが展開できていない。 ②天女を活用したAR(augmented reality)(拡張現実)による情報提供を開始した。※産業振興課対応	0	【評価:D 計画より遅れている】 地域おこし協力隊の配置に至っておらず、計画が大幅に遅れている。 東郷湖・未来創造会議は11月に開催し、取り組みの進捗確認等を行う予定。	企画課		
21 天女のふる里づくり事業②	・天女のふる里づくり事業 天女を活用したまちづくりの一端として関係自治体へのイベント参加交流を実施するほか、これまで取り組んできた植樹等の事業の成果(経過)を情報発信する。 ◆イベント参加旅費 197千円 ◆消耗品 75千円 ◆通信運搬費 10千円 ◆モニタメント保険料 3千円 ◆高速度路使用料等 13千円	298	・「羽衣天女」波のかたち」モニタメント建物災害共済分担金 3千円 ・宙ユリ、ハナミズキの開花情報の発信 5月マスコミへの資料提供等 0千円 ・天女関連自治体イベント参加 8/5京丹後市(フェスタ飛天)※産振課対応	3	【評価:D 計画より遅れている】 ①当初計画していた「第3回天女サミット」は開催地の事情により今年度の実施が困難。	企画課		
22 天女のふる里づくり事業③	・宇宙(そら)桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29に実施。宇宙の桜「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹1年目) ◆旅費 77千円 ◆消耗品 70千円 ◆使用料 31千円 ◆原材料費 33千円	211	■第2回宇宙桜関連サミットへの参加 (5/20兵庫県淡路市開催) ◆旅費 31千円 ◆消耗品 6千円 ■桜坂プロジェクト(地元団体)と連携した天女桜植樹地の環境整備作業の実施 (6/5、7/10、9/11の3回)	37	【評価:D 計画より遅れている】 ■上期実施の取組みは、サミット参加の1回 【下期実施予定】 ■宇宙桜の苗木である高知県仁淀川町の訪問交流 ■天女桜植樹地への花苗等の植栽	企画課		

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画内容	予算額	実績		KPI達成率	H31の実施方針	担当課	
			内容	目録				
23 天女のふる里づくり事業④	<ul style="list-style-type: none"> 天女のふる里東郷湖「花」基金積立金天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 1,000千円 	1,000	<ul style="list-style-type: none"> 積み立ては年度末に行う予定。 ◆基金への寄付額は、8/31現在で1,734千円 	0	173%	引き続き寄付を募るとともに、目に見える形で寄附金の活用を図っていく。	企画課	
24 天女のふる里づくり事業⑤	<ul style="list-style-type: none"> 町天女キャラクター活用推進事業「ゆりりん」の活用を進める。 ◆ぬいぐるみ作成委託料 486千円 ◆ノベルティ等作成 255千円 ◆旅費、メンテナンス、通信運搬費等 189千円 	930	<ul style="list-style-type: none"> ◆ノベルティ(シール)作成 97千円 ◆フェスタ飛天2018in京丹後旅費 31千円 	127	44%	天女キャラクターのさまざまな活用をめざして、ノベルティ作成やデザイン・着ぐるみの活用を推進する。	産業振興課	
25 水明荘経営改善事業	<ul style="list-style-type: none"> 国民宿舎水明荘は年々宿泊客数、休憩客数が漸減している。交流人口の増大を目指し、地域のモデルとなるべく、経営の専門家に依頼し、現状調査・分析を行うことで、問題点の明確化を図り、改善に向けた具体策を作成し、経営改善に向けた取組強化を行うことにより、宿泊客等をはじめとする観光入込客数を増やし、温泉地の振興及び町の活性化を図る。 ◆経営アドバイザー等研修講師謝金 173千円 	173	<ul style="list-style-type: none"> 最大3年の経営改善期間として取り組み始めて3年目となる。経営の専門家が月1回程度、職員に対して、意識改革に向けた研修やネットエージェンメント対応の助言、人材育成指導などを行っている。 	0	50%	3年間の総括報告を受けて、具体的な運営方針を示し、展開スケジュールを定め、必要な措置を講ずる。	産業振興課	
26 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県中部観光推進機構【会費】鳥取県中部観光及び岡山県森林地域の連携を深め、観光資源の共有及び周辺環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円 	531	<ul style="list-style-type: none"> ◆H30年度会費 531千円 	<ul style="list-style-type: none"> 推進交付金 中部エリア (H31.3) ①年間観光入込客数 100,000人 (H30増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H30増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人 (H30増加分) 	531	50%	広域連合で第2次広域観光ビジョン(H31～35)をH30年度中に策定し、この計画に沿って事業を実施する。	産業振興課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価		
27 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）②	【地方創生推進交付金】 中部地域及び岡山県蒜山地域の観光プラットフォーラム機能を充実させて次の事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 22,000千円 おもてなし、受入環境整備事業 温泉地イメージ戦略事業 情報発信事業 プロモーション推進事業 誘客戦略事業 ◆湯梨浜町負担金 3,604千円	3,604	主要観光施設入込客数（4～6月期） 鳥取県中部エリア 234,544人	0	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 中部エリアの各入込客数は、現段階で未発表	50%	広域連合で第2次広域観光ビジョン（H31～35）をH30年度中に策定し、この計画に沿って事業を実施する。	産業振興課
28 教育旅行のメニュー開発事業	教育旅行商品の企画造成を行う。 ◆町観光協会補助金 9,761千円	9,761	◆町観光協会補助金概算払い 5,000千円 ・H31年度予約 9件（1,078人） ・H32年度予約 5件（722人）	5,000	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 9月末現在、H32年度分は仮予約も含めて5件の予約	50%	引き続きメニューの充実を図る。需要の高いドラゴンカヌーについて、利便性の向上を関係団体と調整のうえ進めていく。	産業振興課
29 〈再掲〉 海の駅とまりブラインド化事業 【1：①農林水産業の振興にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,800千円 内訳：ブランド構築のためのコーディネート業務 1,800千円、新商品製造販売支援 1,000千円	2,800	◆補助金 ・ブランド構築のためのコーディネート業務 1,800千円（交付決定額）、600千円（概算払い済み額） ・新商品製造販売支援＝申請なし ⇒申請予定の事業者が、本業の事業見直しなどを行うことになったため。	600	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 新商品製造販売支援については海の駅協議会の活動事業の中で制度活用を行い地域活性化に役立っている計画である。	33%	28～30年度まで3年間の事業期間を終えるが、民間投資による新たな事業構想の提案もあり、今後の展開によっては一部コーディネート業務を引き続き実施することも検討をする。	産業振興課
30 ゆうゆうゆりはま事業	【地方創生推進交付金】 女性が輝き、主役となるまち湯梨浜を外部に向けて発信するため、様々な分野で活躍する女性を3つの「ゆうゆう（悠々・優々・遊々）」で表現し、町の魅力アップや産業振興のツールとして活用する。 ◆イメージアップ業務委託料 12,663千円 ◆ブランド化業務委託料 4,860千円 ◆都市圏でのPR業務 7,722千円	25,245	◆湯梨浜町地域活性化支援業務 21,756千円（契約額） H30.4.15 ゆうゆうゆりはまお披露目会 H30.9.14 ゆうゆうゆりはまサミット（東京都）	0	【評価】C 計画どおりに進んでいる】 新規就業者数 82名 新規就業者数 200人（年間）	41%	取材と成果物の作成はH30年度で終了し、H31は作成したホームページの維持管理やブランドイメージ浸透のためのノベルティグッズ製作（オリジナルブレンドコーヒー）等関連事業を実施する予定。	産業振興課
31 食と健康のまちづくり事業	【地方創生推進交付金】 タニタヘルスツーリズムの展開 ・ウオーキングステーション飲食店とタイアップした健康計測機設置やタニタ監修メニューの提供 ・町外者参加のスポーツ大会等でのタニタ監修メニュー弁当の提供 ◆タニタヘルスツーリズム業務委託料 3,200千円	1,728	H30.9.30 「広報ゆりはま」で健康メニュー作成支援事業説明会を告知。 健康推進分野、企画分野等関係連携の総合事業として取り組むため、予算組み替えを行った（9月議会議決）。	0	【評価】D 計画より進んでいる】 予算組み替えもあり事業推進は10月からの取り組みとなる。	0%	引き続き監修メニューの提供を行う。	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		
32 ゆりはまじ げ産業支援 事業	町内での起業や新事業に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 3,000千円×1事業者	5,551	◆補助金 ・町内旅館と連携したエステ開業支援＝2,514千円(交付決定額) ・民宿がバン販売を開始するための菓子製造業取得支援＝323千円(交付決定額、交付済み額) ・シェアラーの販路開拓支援＝2,714千円(交付申請決定見込額)	323	起業や新事業への取り組みの支援1件	66%	本年度に制度内容を検討し、補助要綱を改正し、新たな制度で事業者支援を行う。中小企業・小規模企業振興基金・小規模企業振興基金・小規模企業振興基金の制度の充実を受け、制度の充実を検討する。	産業振興課
33 チャレンジ シヨップ支 援事業 【1:④履 用の推進に も記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆賃借料補助金 840千円 内訳:新規1件 480千円、継続2件 360千円	840	◆補助金 ・継続1件＝270千円(交付決定額)、135千円(支払済み額) ⇒継続を見込んでいた事業者は事業見直しのため、空き店舗活用事業から撤退。 ・補助申請相談3件	135	新規申請2件	33%	中小企業・小規模企業振興基金・小規模企業振興基金の制度の充実を受け、制度の充実を検討する。	産業振興課
34 (再掲) アロハカ ニバル事業 【1:②履 用産業の振 興にも記載 あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風のアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、スタンプラリー等の誘客関連の取り組みを行い、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープニングイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 505千円 イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	1,250	◆補助金概算払い 1,250千円 H30.7.7 オープニングイベント 大雨で中止 H30.7.7～8.15 19店舗で限定メニューを提供 H30.7.7、7.8 ハワイアンフェスティバルでイベントPR及びココナヒー販売 H30.8.25 ガイナーレ鳥取湯梨浜ホームタウンデーでココナヒー販売	1,250	①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上	145%	事業の在り方(進め方、担い手の範囲等)を検討しつつ、引き続きH30年度並みの事業を実施する予定。推進体制に道の駅はわい協議会等を加えるなど強化を図る。	産業振興課
35 ふるさと名 物応援事業	国の補助金を活用した4事業者が、ふるさと名物関連商品の販売とその販路開拓を進める。加えて、国の補助対象とならなかつた事業者を町として支援し、ふるさと名物のさらなる普及に努める。 ◆補助金 150千円×2事業者＝300千円	300	◆補助金 ・交付申請0件、相談1件	0	4事業者のフォローと町補助制度による支援	33%	タニタヘルスリンク事業などウォーキング関連で取り組む事業者を制度活用により支援しウォーキングリゾート構想を推進する。	産業振興課
36 環境創出プ ロジェクト事 業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を目指す。 ◆対象事業費3,237千円(委託料:生ごみリサイクル活用事業)	3,237	生ごみ収集および支所での液肥配布は順調に実施した。順次、生ごみリサイクル業者である北河産業(有)との調整を進め、現場本庁舎での液肥配布タンクを秋から投入する運びとなった。また、研究の末、竹粉を液肥に混合することとで、液肥の臭気を排除した商品(=Takeco)を開発することにも成功し、市場販売に向けてPR活動の準備を行った。	1,327	生ごみ回収協力区の拡大 H29末 10区 ⇒ H30末 11区以上	0%	生ごみリサイクル商品が市場で販売されることにより、生ごみ収集費の回収につながる。また、生ごみリサイクル事業をこみりサイクル事業と連携して推進する。	町民課

事業名	計画		実績			KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価		
37 看護師、保育士奨学金助成事業 (ふるさと奨学金支援助成事業)	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金：貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金：貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆無利子：180千円 ◆有利子：135千円	315	7/3制度の周知のため、県助成金の対象者に対し、湯梨浜町の制度チラシを同封したDMを県に送付いただいた。	0	申請者6人	0%	【評価：D 計画より遅れている】 就職の内定時期を踏まえて周知を図っていききたい。	教育総務課	
38 (再掲) チャレンジショップ支援奨励金 【1：③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆賃借料補助金 840千円 内訳：新規1件 480千円、継続2件 360千円	840	◆補助金 ・継続1件＝270千円(交付決定額)、135千円(支払い済み額) ⇒継続を見込んでいた事業者は事業見直しのため、空き店舗活用事業から撤退。 ・補助申請相談3件	135	新規申請2件	33%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 相談を受けた2件を交付申請につなげる。	産業振興課	
39 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 新たに町内在住者が町内の事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり200千円(新卒者は300千円)。 ◆200千円×5名分＝1,000千円	1,000	◆補助金 ・交付申請0件、相談2件		新規雇用者5人	33%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 相談のあった2件を交付申請につなげる。	産業振興課	

(単位：千円)

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率			評価
40 雇用促進奨励金事業②	<p>・県中部雇用促進奨励金事業新たに町内在住者が中部圏域内の県企業立地事業補助金の対象となった事業所で正職の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり300千円。中部圏域市町が連携して取り組む事業（各市町で補助要綱作成）。</p> <p>◆300千円×3名分＝900千円</p>	900	<p>◆補助金 ・交付決定2件＝900千円（交付決定額、支払い済み額）</p>	900	新規雇用者3人	100%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 予定どおりの交付決定を行った。</p>	H30と同内容で支援を行う予定だが、併せて31年度に策定予定の新しい中部定住自立圏共生ビジョンにおいて、制度の在り方等抜本的改正も検討する。	産業振興課
41 就職関連情報提供事業	<p>県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する県制度の活用を進める。</p>	0	<p>県からは就職に関する説明会、相談会やインターンシップの情報を提供している。このため、現時点で必要な情報は提供できていると考える。 →今後は、奨学金支援助成金の紹介などの町独自のものを情報提供することを検討したい。</p>	0	町内のUターンや定住を進めるため、県制度を活用して情報提供を行う。	33%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 県制度による情報提供とともに、町独自の制度の紹介を進める。また県立ハローワークと連携できないか協議する。</p>	H30と同内容の事業を行う予定。	産業振興課
42 中部圏域への企業誘致推進事業（広域連携）	<p>圏域の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、関西事務所などを活用して情報提供を行う。</p>	0	<p>・定住自立圏の取り組みとして1市4町で進めているが、進展がない状態。 ・町独自の企業誘致用地等登録事業により未利用資産情報をホームページで公開し企業誘致を進める制度を設けているが活用がない。 ・本町における経済産業省の工場適地調査の結果は、面積要件や配電、給水の条件が不適となり該当がない状況。</p>	0	情報提供している町内工業団地への企業進出数 1件	0%	<p>【評価：D 計画より遅れている】 広域での情報提供が進んでいない。</p>	策定予定の新しい中部定住自立圏共生ビジョンにおいて、情報提供の意義を再確認し、方向性を定める。	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率			評価
43 家庭子育て支援事業	<p>低年齢児(満1歳6カ月未満児)の家庭子育ての支援 産後8週を超え満1歳6カ月に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをすする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆6,287千円/3カ月×4回=25,148千円</p>	25,148	<p>昨年度からの継続支給対象者へは個別の案内を送り、周知を行った。 妊婦届、新生児訪問時に制度の説明を行い、申請時期の周知に努めた。 H30申請受付:89件、支給決定:83件(9月末現在)</p>	5,656	<p>年度末時点で1歳6か月未満児の家庭での子育て率が87.4%以上とする。</p>	58%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 家庭での子育て率 9月末時点 57.7% (対象児208人、就園児88人) 対象児がかわつていくため、今後入園率が下がり、家庭での子育て率が上がると想定されるが、確定はできない。</p>	H31の実施方針 H31引き続き実施。今後家庭子育てを希望する人が制度利用出来るよう、妊娠届時、出生届け時、新生児訪問時等に周知を行う。	子育て支援課
44 多子世帯保育料軽減事業	<p>平成29年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず第2子軽減</p>	0	<p>保育料の軽減措置は、国、県、町独自と積極的に取り組んでいる。軽減の概要については保育料決定通知時に、基準額表とともにバターン化して示し、周知を図った。</p>	0	<p>第3子以降児の出生件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)</p>	0%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 6月までに第3子以降の出産祝い金の支給決定した件数は、8件で年間予定数の約1/3。9月末時点では13件とほぼ目標に近い数値となっている。</p>	継続実施	子育て支援課
45 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	<p>多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金給付事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。(H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,508千円 出産時 50,000円 × 31名 = 1,550千円 小学校入学時 30,000円 × 37名 = 1,110千円 中学校卒業時 30,000円 × 28名 = 840千円 通信運搬費 8千円</p>	3,508	<p>【H30.9月末現在】 H30年度小学校入学祝い金35件 1,050,000円 H30年度出産祝い金 13件 650,000円 【参考】出産祝い金支給件数 H25年度 39件 H26年度 27件 H27年度 26件 H28年度 29件 H29年度 35件</p>	1,700	<p>第3子以降児の出生件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)</p>	43%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 第3子以降の出産祝い金の支給件数は9月末時点では13件とほぼ目標に近い数値となっている。また、平成30年度第3子以降出生数は30件(母子手帳交付状況により)の見込みである。</p>	継続実施	子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価		
46 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備①	<p>子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し、出産から就学前までの切れ目ない支援をめざす。</p> <p>コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。</p> <p>妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれに時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。</p> <p>◆消耗品費、通信運搬費 83千円</p>	472	<p>コーディネーターを配置し、妊娠届、新生児訪問、乳幼児健診の機会をとらえて、対象者の必要に応じて、子育てプラン、子育て応援プランを提供している。</p> <p>子育てプラン提供:対象者全員に実施。</p> <p>子育て応援プラン:4件</p> <p>◆消耗品費、通信運搬費26,270円</p>	58	12.3%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>プラン作成は順調に行なっている。</p> <p>子育て支援センターとの連携は行っていいが、ひとり親家庭支援課等その他関係者との情報連携を強化していきたい。</p>	H31の実施方針 引き続き実施	子育て支援課
47 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備②	<p>産前産後サポート事業 産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個別に相談に対応する。</p> <p>【アウトリーチ型】 パート保健師賃金 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用者からの相談に対応する。</p> <p>◆職員賃金等 1,062千円、消耗品費 11千円</p>	1,073	<p>産前産後サポート事業担当保健師が、子育て応援プラン作成された支援の必要な母親へ訪問や、電話相談を行っている。</p> <p>【アウトリーチ型】5件 【デイサービス型】5回/11回実施</p> <p>◆職員賃金 475,001円 消耗品費6,471円</p>	3	24.3%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>プラン作成数が目標より少ないため、第1子等、丁寧に情報提供や相談対応が必要であろう産婦の新生児訪問を優先に行っている。</p>	引き続き実施	子育て支援課
48 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③	<p>産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘルパー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により虐待の未然防止も図る。</p> <p>【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ細かい支援を行う。</p> <p>【デイサービス型】 日中所した者に対し、個別又は集団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。</p> <p>・母子来所 ・乳児一時預かり</p> <p>【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行う。</p> <p>◆助産師報償費 34千円、委託料 191千円(ヘルパー派遣・ショートステイ・デイサービス等)</p>	225	<p>【事業利用実績】</p> <p>訪問型:1件 宿泊型:0件 デイサービス型:0件</p> <p>新生児訪問で、産後うつリスクが高い産婦には保健師から声掛けを行っているが、実際に利用に至るケースは少ない状況。</p>		4.3%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>【現在の状況】 実利用者数 1人</p>	引き続き実施	子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課	
	内容	予算額	内容	執行金額	目標	達成率			評価
49 不妊治療費 助成事業	<p>県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。</p> <p>【治療の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特定不妊治療費 見込み15件 1,413千円 ◆人工授精費 見込み4件 24千円 ◆不育症治療費 見込み1件 50千円 	1,487	<p>事業利用実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特定不妊治療費 2件 193,750円 	193	<p>利用件数 特定不妊治療15件、人工授精4件、不育症治療1件</p>	12.9%	<p>【評価：D 計画より遅れている】</p> <p>【現在の状況】 実利用者数 2人</p>	H31の実施方針 引き続き実施	子育て支援課
50 ファミリーサポートセンター 事業の 充実	<p>子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。</p> <p>事業PR、会員の確保。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆講師謝金、消耗品、郵送料 34千円 ◆活動保険料 79千円 	2,034	<p>実利用者数年間見込11人に対し2人。依頼があっても、提供会員が見つからず、成立しないケースがあった。提供会員の高齢化、新規の提供会員の登録が少ないことが現状。</p> <p>延べ利用 89件 実利用 2件</p>	918	<p>実利用者数の増。年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(7人×1.5=11人)</p>	0%	<p>【評価：D 計画より遅れている】</p> <p>【現在の状況】 実利用者数 2人</p>	引き続き実施。	子育て支援課
51 18歳年度末 までの医療 費助成事業	<p>小児医療対象者への医療費の給付(現物・現金)を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特別医療費助成(小児) 50,982千円 	50,982	<p>大半の受給資格者は出生、転入の手続きと併せて町民課や子育て支援課で制度案内や受付をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆転入者の多くは転入の手続き時に完了する。 ◆出生者については各種健康保険証が交付されてからの手続となるため、国保以外の受給者は出生から申請まで1~3か月かかる。 	27,789	<p>【目標】 新規対象者(出生・転入者)のうち、90%以上の方に受給資格証を申請していただくよう周知に努める。</p>	96%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新規対象者の対応については、計画どおりに進んでいる。 ◆小児区分については、受給資格証が無い状態で受診した場合でも、医療機関から申請手続きの案内を行っているため、医療費助成は適正に実施できている。引き続き今後も周知に努める。 	前年と同様に実施する。	健康推進課

事業名	計画 内容	予算額	実績		KPI 達成率	評価	H31の実施方針	担当課	
			執行済額	目標					
52 病児・病後 児・夜間保育 事業	<p>◆病児保育：120人（定住自立圏構想での取組。事業委託者ババール園。実施場所県立厚生病院） 対象者：在園児及び小学校3年生以下 785千円 ◆病後児保育：45人（定住自立圏構想での取組。事業委託者十字会。実施場所野島病院） 対象者：在園児及び小学校3年生以下 704千円 （上記は引き続き定住自立圏 で取組む）</p>	1,489	<p>利用者数は4月から8月までの実績。9月利用者の報告は未。支払いは年度末。 【参考】 病児保育利用実績 H25年度 延べ34件 H26年度 延べ87件 H27年度 延べ83件 H28年度 延べ85件 H29年度 延べ109件 H30年8月末 延べ22件</p>	0	120 45件	16%	<p>【評価：D 計画より遅れている】 就園時の病児等の件数が少ない、または自宅での看護等の理由で9月末の利用件数が少ないと予想される。</p>	H31の実施方針 引き続き実施。	子育て支援課
53 SNS等による 子育て支 援情報の提 供	<p>妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 389千円</p>	389	<p>8月から、子育てアプリ「笑顔ゆりはま子育てアプリ」を開始。 妊娠届、新生児訪問、乳児健診、こども園、広報湯梨浜、湯梨浜町ホームページ、ケーブルテレビでPRを行った。引き続き利用促進のPRを続ける。引き続き情報の提供を行っている。 委託料32,400円</p>	32	フェイスブック等による情報発信	12.5%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 アプリを導入し情報発信は順調に行っている。</p>	継続実施	子育て支援課
54 放課後児童 クラブ・放課 後子ども教 室の推進①	<p>放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニケーション施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1：7,046千円、羽合第2：8,985千円、東郷第1：7,112千円、東郷第2：5,831千円、泊：6,963千円</p>	35,937	<p>8月の実績を見ても登録して未利用だった者は13件だった。未利用でも登録すれば利用料がかかることは承知の上で登録している場合がほとんどである。</p>	14,932	<p>利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。</p>	98%	<p>【評価：B 計画以上に進んでいる】 4月登録数355人 未利用 3人 5月登録数335人 未利用 8人 6月登録数339人 未利用 9人 7月登録数389人 未利用 6人 8月登録数397人 未利用 13人</p>	継続実施	子育て支援課

事業名	計画内容	予算額	実績内容	執行済額	KPI		H31の実施方針	担当課	
					達成率	評価			
55 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場専業(放課後子ども教室)	羽合西コミュニティ及び町内3小学校の空き教室を使用し、年間35回程度の学習支援活動を行う。週1回は放課後の(月3回予定)と夏季休業中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員O Bを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費 1,885千円、消耗品、燃料費 97千円 保険料 90千円	2,072	4月～5月にかけて学習アドバイザー(指導者)を確保した(16名)。また、各小学校低学年を中心に専業主業した。活動開始までに各教室ごとに指導者と連絡会を持った。 ・羽合西コミュニティ(2,3年生) 児童20名 ・羽合小(1年生) 児童17名 ・泊小(1,2,3年生) 児童7名 ・東郷小(1,2年生) 児童20名 羽合西コミュニティは、一人の児童につき週2回実施。羽合小、泊小、東郷小は月3回程度実施。	608	運営委員会を開催し、各小学校等でも教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 児童数70名とす	90%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 各教室とも計画通り開催している。参加児童においてもほぼ概ね専業主業の教員は再募集を行った)	H31の実施方針 指導者の確保と、児童の集中力が持続する方法を指導者と検討しながら継続していきたい。	教育総務課
56 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかに成長できるように環境づくりを推進する。 羽合地域(長瀬、東田後)、東郷地域(舎人、大介)、4放課後子ども教室を実施する。 H30年度から東田後においては週2回開催を週3回開催とする。 ◆報償費(4教室分) 2,235千円、消耗品費 189千円	2,424	平日の放課後や週末など、子どもたちの安全・安心な居場所、活動拠点を確保し、学習や様々な体験活動が行われる環境を整え、4月から東郷地域、羽合地域において4教室について、地域の方、ボランティアサークルなどの協力を得ながら事業を実施している。 【参加延人数】(9月19日までの報告分) 長瀬キッズ 43人 東田後放課後子ども教室 787人 舎人放課後子ども教室 330人 大介 47人 合計 1,207人	1,114	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,400名以上とす	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 それぞれの教室で計画どおり事業が実施され、子どもたちの居場所、体験活動などが行われた。	引き続き、より身近な地域で放課後子ども教室が実施できるよう、指導者と連携を図りながら進めていく。 新規実施の動きがあり、円滑導入できるよう進める。	生涯学習・人権推進課	
57 ゆりはま自主学習の広場専業(ゆりはま地域未來塾)	在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の下校後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に学習習慣の定着を目指すものであり、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国事業:『学校・家庭・地域の連携協力推進事業』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金 351千円、消耗品、郵券料 51千円、保険料 48千円	450	4月から教育活動支援員の登録及び参加生徒の募集を行った。4月下旬には両中学校区で教育活動支援員連絡会を持ち、活動のねらい、支援の在り方等について共通認識を図った。5月から未來塾をスタートし、現在、東郷中8名、北浜中8名の参加生徒を得て、平日5回、土曜3回の計8回を実施した。教育活動支援員も北浜中5名、東郷中6名の参加数である。 ★生徒参加率(両中学とも20%を想定) 東郷中 47名中8名(約17%) 北浜中 108名中8名(約7%)	95	運営委員会を開催し、各中学校で未來塾を実施し、学習習慣の定着を図る。 生徒数25名とす	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 両中学校区とも運営委員会を計画どおり開催し、共通理解のもと、生徒の支援に当たることができている。ただ、想定する人数の参加を得ていない状況があり、追加募集をかけていきたい。	指導員の確保に努め、継続して実施したい。また、中学校の統廃合もあり、開催場所・方法を検討していきたい。	教育総務課	

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画内容	予算額	実績		KPI	評価	H31の実施方針	担当課
			内容	執行済額				
58 学校支援ボランティア事業の推進	・各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 ・また、各校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対し、他校人材バンクへの登録者情報が必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 62,000円	62	57	各小中学校から名簿の提出を受け、ボランティア保険への登録手続きを行った。現在、羽合小27名、泊小33名、東郷小39名、北溪中27名、東郷中35名、計161名の登録がある。各校で、読み聞かせ、登下校の見守り、除草作業などの活動が行われている。また、学校運営協議会の活動により、今後、さらにボランティアが広がりを見せそうな学校も見られる。	100%	【評価:A 達成済、事業完了】登録者数は目標値に到達し、コミュニケーション・スキル導入に伴い、新規登録者も開拓していきたい。	引き続き、進めていきたい。	教育総務課
59 ふるさと教育の推進	総合的な学習の時間で行われている地域学習の取り組みを拡充する。各小・中学校独自の取り組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 【羽合小学校】総合的な学習(湯梨浜昔話お話し会、はわい自傳調べほか)45,810円 【東郷小学校】総合的な学習(梨づくり、東郷池体験活動ほか)59千円 【北溪中学校】総合的な学習(エンジョイフィッシング、泊貝から節伝承ほか)94千円 【東郷中学校】伝統芸能継承、地域貢献ほか85千円	344	160	現在までの事業実施状況【羽合小】いさもの探検(9月)はわい自傳調べ(9月)、東郷池学習(9月)【泊小】エンジョイフィッシング(雨のため中止)、泊貝から節伝承(5月)、全校グラウンドゴルフ(9月)、梨づくり(4月～)【東郷小】梨づくり体験学習(4月～)、東郷池体験活動(5月～)、グラウンドゴルフ体験(5月～)【北溪中】ふるさと野外活動(5月)、職場体験学習(6月)【東郷中】地域の農家での体験(5月)、伝統芸能継承(7月)、地域行事に参加(7月)	50%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】総合的な学習の時間などを中心にふるさと教育を進めている。なお、アンケートは、各校において最終事業が終了した時点で進行。 ※達成率進捗:アンケート=1:1として算出。	各学校において、地域の中での体験活動や調査活動とあわせて、地域のひととのつながりを大切にする心、愛着を持つ児童生徒の育成に努めていきたい。	教育総務課
60 小学校社会科副読本作成事業	編集委員会の開催(小学校社会科教諭等)4回開催予定 ◆報償金2,400円×3名×4回=29千円	29	0	8月に編集委員会を開催し、各担当の分野について原稿を確認した。小学校社会科副読本湯梨浜版(3、4年生向け)の作成を進めている。 ・湯梨浜町の地図 ・湯梨浜町の防災について ・湯梨浜町の水について ・郷土の発展に尽くした人について	30%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】10月、12月に委員会を開催し、年度内に配布の準備を整える。	平成31年4月出版予定。各小学校3、4年生で活用する。	教育総務課
61 ワーク・ライフ・バランスセミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナーを開催する。 ◆需用費 10千円 ◆セミナー委託費 200千円 ◆企業応援奨励金 170千円	380	0	今年度、ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施する予定であるが、現時点で、実施日「は未定」。 ◆需用費 0千円 ◆セミナー委託費 0千円 男女共同参画環境づくり奨励事業補助金について、現時点での申請はない。 ◆奨励事業補助金 0千円	0%	【評価:D 計画より遅れている】現時点において、15社の登録あり。	H30年度の実施状況を勘案しセミナーに参加しやすい内容を検討したい。	企画課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価			
62 介護予防・健康づくりリーダー（ゆりりんメイト）養成事業	介護予防・健康づくりリーダーの養成を着実に実施していくとともにリーダー実習を支援して自主的活動展開へとつなげる。（5年計画の4期目） ◆講座講師報償金 82千円 ◆実習参加謝礼 36千円 ◆講座テキスト代 33千円 ◆消耗品の購入、郵送料 47千円	198	★養成講座応募者：19人（H29年度に4回目までを受講済の2人を含む。） ・6月28日に開講式を行い、9月末までに4回の養成講座を実施した。 当日受講者は延64人。当日欠席者には延5人に補講を実施。前年度受講済は延4人で合計で延73人が受講済。 ・受講生19人のうち、1人が家庭の事情等で2回目を以降の受講を辞退された。 ★第3期生の活動（目標：実習参加1人2回以上）に対する達成者：4人/17人 （23.5%）累計：延4人 ★第1・2期生の活動（目標：サロン1人1回以上）に対する達成者：20人/43人（46.5%）累計：延74人	147	介護予防・健康増進リーダー養成者数：20人 実習参加（3期生）：1人2回以上 サロン実施（1～2期生）：1人1回以上	52.5%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 ★養成講座については、募集目標20人に対して19人（前年度4回目まで受講済で修了に至らなかった2人を含む。）の応募があった。開講後、2回目以降の参加が難しくなった1人が辞退され、現在は18人が受講している。達成率：18/20=90% ★3期生の達成率：4人/17人=23.5% ★1・2期生の達成率：20人/43人=46.5% ★合計達成率：(18+4+20)/(20+17+43)=52.5%	★H31年度は、養成講座の最終年度であり、5年間の修了者が目標の100人になるよう募集し、実施していく。 ★修了翌年度の第4期生には地域包括支援センターと共に実習参加を1人2回以上、第1～3期生にはサロン実施1人1回以上を目標に活動し、地域の介護予防等に活躍していただく。	長寿福祉課
63 歯・口の健康づくり推進事業	小学校においては、町が実施主体となり、学校歯科医師等の関係者と連携を図りながら実施していく。 中学校については、県の委託事業として、県歯科医師会、教育委員会と連携し実施。 ◆歯科保健指導、検討会出席謝金 63千円、消耗品・郵送料 182千円、洗口液作成・配達委託料 623千円	888	町内小学校については、4月26日から泊小学校で27日から羽合小学校、東郷小学校で実施。実施率：羽合小学校95.6%、東郷小学校98.9% 泊小学校95.1%（9月18日現在） 町内中学校については、6月20日から北浜中学校、6月27日から東郷中学校で実施。 実施率：北浜中学校82.8%、東郷中学校88.2%	230	【目標】 町立中学校全学年でフッ化物洗口を実施する。	50%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 各中学校、教育委員会、学校歯科医師等と連携し、より効果的率の実施を目指す。	町が実施主体となるが、フッ化物洗口事業の本来の目的から適当な実施体制を検討していく。	健康推進課
64 健康相談・健康教室等の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施（龍鳳閣） 年間計画に沿って実施（週2回、年75回） ◆講師謝金 312千円	312	4月～8月参加者実績：391人 【内訳】4月：71人、5月：110人、6月：110人、7月：79人、8月：21人	120	【目標】 教室参加人数を1,200人以上	32.5%	【評価：D 計画より遅れている】 昨年度と比較して、夏季の参加者が減っている。引き続き広報紙等で周知を図りたい。	平成30年度の並の事業を実施する予定。	健康推進課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		
65 健康相談・健康教室等の実施②	【地方創生推進交付金】 積立貯筋運動教室 町内の体育施設を利用して、健康体操を中心に開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。 ◆講師謝金 1,104千円、消耗品・印刷費・郵券料101千円	1,205	申込時は定数20名を上回る申し込みがあった教室でも、目標人数を割りこんでいる。特にヨガ教室については、定員の4割未満の参加人数で推移している。	462	【目標】 各運動教室参加者 15名/回	76.5%	教室の内容・実施回数(頻度)・募集方法を見直し、参加者が継続して参加しやすい内容で開催する。	健康推進課
66 健康相談・健康教室等の実施③	【地方創生推進交付金】 ウォーキングと温泉を利用した健康+観光推進事業 ウォーキングと温泉を活用した運動プログラムの周知することにより、実践につなげ町民の健康づくりにつなげる。 ◆消耗品費 200千円	200	本町の温泉効能に一番近い入浴剤(はわい温泉・東郷温泉入浴剤)を2,000個購入。 H29年度に作成した運動プログラムの効果を記載したチラシとともに配布し、その効果を実感してもらった。 ※運動教室、ウォーキングイベント等で配布	160	【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウォーキング教室の参加者を前年比110%とする。	30%	似たような教室が町内他事業所でも実施されており、近年周知をしても参加者が固定されている。町のウォーキングリゾート事業の方向性と併せて実施の有無について検討が必要。	健康推進課
67 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携	【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ◆「まちの保健室」等事業にかかる報償金 90千円 ◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円 ◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 175千円	312	①松崎地区まちの保健室実施：6月10日(土)於：どれみ 参加者：27名 *5月27日(日)の軽トラ市で、健康相談と、まちの保健室のチラシを配布しPRした。 ②原地区まちの保健室実施：7月8日(日)於：原集会所 参加者39名	0	【目標】 モデル地区3地区選定。まちの保健室の開催	50%	H31年度は、2地区での実施となる。各地区が、地域での自主的な健康づくりが実施できるような支援が必要。 可能な限り、地域のニーズに対応した事業展開が望まれる。	健康推進課
68 食と健康のまちづくり事業	【地方創生推進交付金】 タニタ健康プログラムの推進 ・タニタ健康システムの機器の導入、運用 ・タニタ健康プログラムの推進 ◆食と健康のまちづくり事業 委託料3,851千円、活動量計ID、サイト使用料他1,242千円	5,093	【今後のスケジュール】(予定) ・10月中旬 タニタと協定調印式 ・10/14ゆりはま天女ウォークで事業PR ・11月町報でゆりはまヘルシークラブ会員募集チラシ全戸配布	0	【目標】 運動管理システム(活動量計)を利用した「ゆりはまヘルシーくらぶ」の会員を最終600名とする。	0%	H31年度が事業の本格実施となるので、今年度の実施状況をみながら、会員増になるよう事業内容を調整し実施する。	健康推進課

事業名	計画		実績		執行済額	目標	KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	実績			達成率	評価		
69 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進① 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進)28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」の連携など官民が一体となり推進していく。 ◆生涯活躍のまち推進事業14,737千円 移住体験ツアー委託 351千円、移住PR事業費 12,437千円 平成30年度は、昨年度作成した4ha土地全体構想をもとに都市部でのPRのための資料作成を行う。 	14,737	<p>■4月～9月に合計6回の(仮称)レークサイドヴィレッジゆりはまプロジェクト会議を開催。今後の事業計画等について協議を行っていき、また、8月にPR資料作成業務を委託し、都市部等でのPR活動等に使用する資料作成を進めている。</p>	347	<p>＜推進交付金＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県外からの移住者：200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体(H29)、27団体(H32) 	78%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県外からの移住者：112人 ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：31団体 <p>CCRCに参画する団体は、まちづくり会社に出資する事業者等のほか、4ha土地開発事業に参画する事業者等が加わり、目標を達成した。</p>	H31年度は、4ha土地開発事業の都市部でのPR活動や見学ツアーの実施などを検討していく。	みらい創造室	
70 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進② 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊4名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(4名) 15,997千円 	15,997	<p>■9月に新協力隊員1名を任命。泊地域の空き家対策事業、総合相談センターどれみのみ企画運営を中心にまちづくり会社で業務を行う。</p>	3,951	<p>＜推進交付金＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県外からの移住者：200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体(H29)、27団体(H32) 	78%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>新地域おこし協力隊1名を任命して、全3人で活動をしていく。もう1名も募集を継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県外からの移住者：112人 ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：31団体 	H31年度も、引き続き生涯活躍のまちの実現のため地域おこし協力隊の活動を継続する。	みらい創造室	
71 〈再掲〉「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④ 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ◆「まちの健康室」等事業にかかる報償金 90千円 ◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円 ◆まちの健康室鳥取看護大学委託料 175千円 	312	<p>①松崎地区まちの健康室実施：6月10日(土)於：どれみ 参加者：27名 *5月27日(日)の軽トラ市で、健康相談と、まちの健康室のチラシを配布しPRした。</p> <p>②原地区まちの健康室実施：7月8日(日)於：原集会所 参加者39名</p>	0	<p>【目標】</p> <p>モデル地区3地区選定。まちの健康室の開催</p>	50%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>鳥取看護大学と地域の二一ズ調整が必要。可能な限り、地域の二一ズに対応した事業展開が望まれる。</p>	H31年度は、2地区での実施となる。各地区が、地域での自主的な健康づくりが実施できるような支援が必要。	健康推進課	

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価		
72 縁結び支線 員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支線員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支線員 ◆情報交換会、研修会 出席報償金 40千円 ◆婚姻成立時報償金 72千円	112	◆縁結び支線員 情報交換会、研修会 出席報償金 0千円 ◆婚姻成立時報償金 0千円	0	0%	【評価:D 計画より遅れている】 ■縁結び支線員の仲立ちによる成婚件数は0件であり、目標に達して遅れている。 ■新規縁結び支線員について、町報等により募集(6月末～8/31)し、申込の相談が1件あったものの、現時点において未だ登録に至っていない。	H31の実施方針 引き続き支線員の増を図るとともに、意見交換会や中郡圏域婚活支援者ネットワーク(H30)に広域連合が構築予定)を通して、支線員同士の情報共有を図ることにより、独身者情報により、マッチングに繋げていきたい。	企画課
73 婚活イベント 事業(広 域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円	200	◆広域連合負担金 0千円	0	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ■H30は目標のとおり、婚活イベント2回、婚活セミナー3回の実施を予定しており(H30.6.21婚活事業担当者会議協議事項)、現時点においてはイベント・セミナーの実施には至っていないものの、実施に向け概ね計画どおりに進んでいる。(H30.10以降開催予定)	町HP等によるPRや、支線員への情報提供に加え、H30に開設した広域連携婚活事業HPを活用しながら、イベント・セミナー参加者を獲得し、出合いの場の提供を推進していきたい。	企画課
74 中学校統合 に伴う北冥 中学校及び 東郷中学校 の跡地利用 計画の策定 等	中学校統合等による跡地施設の有効利用を図るため、有効な利用方法を検討するための委員会を開催し、実施に向けた調整を行う。 ◆委員報償金 193千円 ◆消耗品費 10千円 ◆通信運搬費 12千円 【湯梨浜町中学校跡地施設等利用検討委員会設置要綱】 【委員会】 <input type="checkbox"/> 委員20人以内 【組織】 ①学識経験のある者又は住民活動を行う者 ②町議会の議員 ③町の職員 ④公募による者 【委員任期】 <input type="checkbox"/> 2年	215	◆学校跡地施設利用検討委員会委員 報償金 110千円 第1回 H30.5.30開催 第2回 H30.7. 5開催 第3回 H30.8. 7開催 第4回 H30.9.12開催 ◆消耗品購入、郵券料 7千円	89	67%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 H30は現時点で4回委員会を開催。最終回である第5回検討委員会中学校校ごとの検討案をまとめる予定であり、目標に向けて概ね計画どおりに進んでいる。(第5回委員会はH30.10.30開催予定)	H30年12月までを目途に跡地利用計画を町に提出する予定とされているため、H31の実施計画はなし。	企画課

(単位:千円)

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価		
75 JUターン 促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。 《H31予算額》3,918千円(旅費347千円、需用費30千円、役務費41千円、委託料3,500千円)	3,918	相談会参加 ・5/12鳥取県来乗カフェア(大阪)相談2組 ・5/19鳥取県移住フェア(東京)相談7組 ・6/10鳥取県移住フェア(大阪)相談6組 6/1移住定住促進業務を湯梨浜まちづく(株)と契約	116	60%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 移住について具体的な相談に入っている者数:3人	H31の実施方針 引き続き実施していく	みらい創造室
76 空き家情報 バンク活用 促進事業	空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合には、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×2件=500,000円 《H30予算額》補助金 500千円	500	◆補助金 0千円	0	0%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 ■町外(県内)の利用登録者数は4件であり、年間目標を超過し、計画以上に進んでいる。 ※町内(県内)利用者登録数3件 ※県外利用者登録者数2件	広報等により、登録者数・登録物件の増を図ることにより、空き家所有者と利用希望者との更なるマッチングを行いたい。	企画課
77 空き家対策 事業	空き家改修事業補助金 移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 《H30予算額》補助金 500千円×2件	1,000	◆補助金 0千円	0	0%	【評価:D 計画より遅れている】 ■空き家情報バンクの利用はあるものの、提供には未だ至っておらず、計画よりも遅れている。	空き家情報バンクの登録物件の増を図るとともに、県外各相談会において移住希望者等へPRを行い、マッチング・空き家提供の推進を図りたい。	企画課
78 移住定住者 住宅支援事 業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《H30予算額》4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	4,500	◆移住定住(土地開発公社) 0千円 ◆移住定住2名以上 0千円 ◆移住定住1名 0千円 ※移住定住1名(空き家購入後の改修)については1件交付決定済	0	0%	【評価:D 計画より遅れている】 ■移住定住1名(1件)については、交付決定済みであるものの、年間目標に比べれば、計画より遅れている。	東京・大阪での各相談会の機会を捉えPRを行い、移住定住の推進を図りたい。	企画課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価			
79 移住定住者住宅支援事業②	<p>・ゆりはま定住モデルハウス事業 土地開発公社分譲地を購入した上でモデルハウスを建築し、1年以上運営する事業者(ハウスメーカー等)に対して、補助金を交付することで、本町への移住定住と分譲販売の促進を図る。 (H30は計画認定のみ。債務負担行為設定済) ◆報償費 5千円 ◆通信運搬費 2千円</p>	7	◆補助金 0千円	0	<p>モデルハウス補助金計画認定1件</p>	0%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 住宅業者に情報提供は行っているが、利用に結びついていない。</p>	<p>H31の実施方針 引き続き情報提供を行いながら制度の利用を促していく。制度創設3年目である31年中の利用状況を見て、制度改正を検討する。</p>	企画課
80 町外者による「ゆりはま暮らし体験ポランテア」の宿泊費助成事業	<p>町内で移住定住希望者にポランテアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ポランテア受入者には報償費を支払い、ポランテア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ポランテア受入報償金 100千円 ◆ポランテア受入委託料(宿泊)60泊 324千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 6千円</p>	456	<p>◆ポランテア受入報償金 28千円(11日) ◆ポランテア受入委託料(宿泊) 65千円(12泊) ◆宿泊費補助 0千円 ◆通信運搬費 0千円 ※ポランテア従事者7名</p>	93	<p>ポランテア従事者:20名</p>	35%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 ■今年度半期を経過し、年間目標(年間20名)の半数に至っていない点においては、計画より遅れている。</p>	<p>ふるさと鳥取県定住機構のDMを活用し、広報に努めるとともに、新たな内容(体験メニュー)の検討を行い、参加者の増を図りたい。</p>	企画課
81 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	<p>どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上の世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×37件=18,500千円 新築・購入(中山間地域) 600千円×21件=12,600千円 新築・購入(土地開発公社) 1件 1,000千円 合計 59件、32,100千円</p>	32,100	<p>◆交付決定(9/14現在・H29債務負担金) 44件 22,959千円 新築・購入 33件 16,459千円 新築・購入(中山間) 10件 5,500千円 新築・購入(開発公社) 1件 1,000千円 ◆交付済額(9/25現在) 9,959千円(20件)</p>	9,959	<p>若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:59件</p>	75%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 交付決定件数は、前年同期とほぼ同じペースで推移している。</p>	<p>需要の多い補助金であり、本町への移住定住支援策として引き続き実施する。</p>	企画課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業進捗状況

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		
82 三世帯同居 世帯等支援 事業	三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 500千円×5件 2,500千円	2,500	今年度、交付申請のあったリフォーム費用に対し、1件交付済。 157千円	157	新たな三世帯家族の定住:5件	20%	【評価:D 計画より遅れている】 現在、30年度住宅完成予定の申請を2件受けている。	企画課
83 移住者運転 免許取得 支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3件 450千円	450	広島県からの移住者1名に対し交付済。 119千円	119	県外からの定住者の免許取得:3件	33%	【評価:D 計画より遅れている】 現時点において、左記に交付した者以外からの申請件数は0件。	企画課
84 住宅取得仲 介報酬助成 事業	中古住宅及び新築住宅用地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×10件 1,300千円	1,300	現時点において、申請0件。	0	中古住宅及び新築住宅用地購入による、町内への定住:10件	-0%	【評価:D 計画より遅れている】 引き続き情報提供を行いながら制度の利用状況を促していく。制度の見直しを検討する。	企画課

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価		
85 お試し住宅 運営事業	【地方創生推進交付金】 古民家を活用してお試し住宅と、街なかには新設したお試し住宅を設置して、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらおうと地域に、空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 お試し住宅指定管理をまちづくり会社として運営する。	0	お試し住宅利用実績 【まっさき屋】 4月1件 6月1件 7月2件 8月3件 【もりた屋】 7月1件 8月1件	0	38%	【評価:D 計画より遅れている】 お試し住宅利用件数:9件	H31の実施方針 もりた屋の利用促進のため、滞在メニューの提案等を行い周知を図っていく。	みらい創造室
86 (再掲) ふるさと奨学金貸与事業(名称変更:ふるさと人材育成奨学金支援事業) 【I:④雇用推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆無利子:180千円 ◆有利子:135千円	315	7/3制度の周知のため、県助成金の対象者に対し、湯梨浜町の制度チラシを同封したDMを県に送付いただいた。	0	0%	【評価:D 計画より遅れている】 就職の内定時期を踏まえて周知を図っていききたい。	町内の広報、県と協力しての制度周知を図った行く。	教育総務課
87 (再掲) 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進① 【II:②地域福祉の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 26年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の若々々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜町まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。 ◆生涯活躍のまち推進事業14,737千円 移住体験ツアー委託 351千円、移住PR事業費12,437千円 平成30年度は、昨年度作成した4ha土地全体構想をもとに都市部でのPRのための資料作成を行う。	14,737	■4月～9月に合計6回(仮称)ワークショップ サイドイベントゆりはまプロジェクト会議を開催。今後の事業計画等について協議を行っている。また、8月にPR資料作成業務を委託し、都市部等でのPR活動等に使用する資料作成を進めている。	347	78%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ①県外からの移住者:112人 ②CCRC事業に参画する民間業者・団体数:31団体 CCRCに参画する団体は、まちづくり会社に出資する事業者等のほか、4ha土地開発事業に参画する事業者等が加わり、目標を達成した。	H31年度は、4ha土地開発事業の都市部でのPR活動や見学ツアーの実施などを検討していく。	みらい創造室

湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	達成率	評価		
88 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版のまち・湯梨浜町版の推進② 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊4名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(4名) 15,997千円	15,997	■9月に新協力隊員1名を任命。泊地域の空き家対策事業、総合相談センターどれみ、の企画運営を中心にまちづくり会社で業務を行う。 3,951	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)	78%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 新地域おこし協力隊1名を任命して、全3人で活動を継続する。もう1名も募集を継続していく。 ①県外からの移住者:112人 ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:31団体	H31の年度も、引き続き生涯活躍のまちの実現のため地域おこし協力隊の活動を継続する。	みらい創造室
89 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版の推進③	【地方創生推進交付金】 平成30年度は、昨年度設計が完了した松崎駅前多世代地域交流拠点の改修工事を実施するとともに、拠点オープンに向け、備品購入や内容検討等を進めていく。 ○松崎駅前多世代地域交流拠点(地方創生) ・松崎駅前多世代地域交流拠点施設設計・監理業務委託料 1,674千円 工事請負費 73,590千円 備品購入費 4,061千円 下水道負担金・温泉加入金 2,976千円	82,326	■6月に建築・電気・機械設備の工事契約し、工事着手。順調に進んでおり、10月末には工事が完了予定。備品の購入についても事務を進めている。 26,824	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)	78%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ①県外からの移住者:112人 ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:31団体 CCRCに参画する団体は、まちづくり会社に出資する事業者等のほか、4ha土地開発事業等に参画する事業者等が加わり、目標を達成した。	拠点オープン後の利活用について随時検討し、充実させていく必要がある。	みらい創造室
90 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版のまち・湯梨浜町版の推進④ 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及びび看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ◆「まちの健康室」等事業にかかる報償金 90千円 ◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円 ◆まちの健康室鳥取看護大学委託料 175千円	312	①松崎地区まちの健康室実施:6月10日(土)於:どれみ 参加者:27名 *5月27日(日)の軽トラ市で、健康相談と、まちの健康室のチラシを配布しPRした。 ②原地区まちの健康室実施:7月8日(日)於:原集会所 参加者39名 0	【目標】 モデル地区3地区選定。 まちの健康室の開催	50%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 鳥取看護大学と地域のニーズ調整が必要。可能な限り、地域のニーズに対応した事業展開が望まれる。	H31年度は、2地区での実施となる。各地区が、地域での自主的な健康づくりが実施できるような支援が必要。	健康推進課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率			評価
91 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑥	<p>町営住宅建替えについて、生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての整備計画の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設場所 ・規模(戸数) ・財源計画 ・用地取得 ・事業要望 <p>等</p>	0	<p>PPP/PFI導入推進事業を活用し、町内の公営住宅のあり方を総合的に検討中。</p> <p>現時点でのあり方の案は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ミッドレーイク跡地 20戸程度新築 340,000千円(@17,000千円/戸) ②上町団地跡地 18戸新築 306,000千円(@17,000千円/戸)※既存施設の解体費は別途 ③その他の既存団地は継続・売却・統合などのあり方を随時検討。 	0	<p>①県外からの移住者:200人(H30)、980人(H32)</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H30)、27団体(H32)</p>	0%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>PPP/PFI導入推進事業のなかで探沢業者である市浦H&Pと共に計4回の打合せを行った。</p>	<p>H31の社会資本整備総合交付金を受けながら事業実施に向けての設計等を行っていく。</p>	町民課
92 ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー事業	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>地域で活躍する女性を前面にPRする町全体の取組の中で、女性が活躍できる町を県外へアピールし、女性を中心とした町内への移住定住の促進を図る。</p> <p>セミナー開催(東京、大阪)</p> <p>ツアー開催</p> <p>報償費 30千円</p> <p>旅費 377千円</p> <p>需用費 60千円</p> <p>役員費 81千円</p> <p>委託料(ツアー) 240千円</p> <p>会場使用料 109千円</p>	897	<p>・7/14ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー(東京)参加者24人</p> <p>・8/19ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー(大阪)参加者17人</p> <p>・9/22-24鳥取県の真ん中移住体験ツアー参加者4人</p>	465	<p>移住について具体的な相談に入っている女性の数:3人</p>	66.7%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>移住について具体的な相談に入っている女性の数:2人</p>	<p>セミナー、ツアーの流れについて、適正化を検討する。</p>	みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		
93 地域おこし協力隊事業	総合計画や過疎計画の進捗状況等を確認し、地域おこし協力隊の活用が有効と思われるものについて、その導入を働きかけ、またはその支援を行う。	0	◆企画課で1名、みらい創造室で2名の合計3名配置するよう手続きを進めているが、このうち実地の配置に至ったのは、みらい創造室の1名のみ。2名については、3次募集を行っているところ(9/14現在) ◆その他の部署では協力隊活用についての具体的な検討はなされていない。	0	協力隊の任用1名	100%	【評価】D 計画より遅れている 企画課分の隊員3次募集を行っているところ(10/12応募期限)	企画課
94 地域のにぎわいを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 (交付決定後、補正予算で対応) ◆通信運搬費 21千円 ◆補助金1件 1,400千円 ①南谷 ※6月補正予算計上	1,421	◆通信運搬費 0千円 ◆補助金1件 1,400千円	0	(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。	50%	【評価】C 計画どおりに進んでいる ■H30採択区への交付決定、H31募集案内など計画どおりに進んでいる。	企画課
95 地域のにぎわいを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役員費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)	702	創造事業 1件200千円×1団体 ステップ事業 1件100千円×1団体	300	まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 3団体 ステップ事業 1団体	50%	【評価】D 計画より遅れている ■交付決定団体数は目標に至っていない。	企画課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI	評価	H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額				
96 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ◆集落運営交付金 ◆自主防災組織運営交付金 ◆防犯灯維持管理交付金 ◆防犯灯設置交付金 ◆集落活性化交付金 ◆補助金 計 36,407千円 ◆通信運搬費 62千円	36,469	◆集落運営交付金(5/10支払) ◆自主防災組織運営交付金(随時) ◆防犯灯維持管理交付金(随時) ◆防犯灯設置交付金(随時) ◆集落活性化交付金(随時) ◆補助金 計 15,029千円 ◆通信運搬費 20千円	15,049	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ◆集落活性化交付金については、世帯数、事業実施の有無の問題から、申請が出てきていない区もあるもの、その他の交付金については、全区又は全申請区に交付決定等を行っており、計画どおりに進んでいる。	H31の実施方針 引き継ぎ、各区の活動に対しての支援を行うとともに、より活用しやすい制度となるよう内容等の検討を重ねていきたい。	企画課
97 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域のにぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,632千円 ◆役務費 6千円	3,638	現在、12地域全てから申請を受け、交付決定をしている。 ◆補助金 3,106千円 ◆役務費 0円	3,106	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 10月中に今年度の概算私を全て完了する予定。	引き継ぎ、各地区の活動に対しての支援を行うとともに、より活用しやすい制度となるよう内容等の検討を重ねていきたい。	企画課
98 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 11団体 500千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円	510	◆補助金 0千円 ◆消耗品 0千円 ◆通信運搬費 0千円 ※11団体に交付決定済	0	0%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ◆交付決定団体数で見れば、現時点においては昨年と同数の11団体であるが、今年度1団体の新規団体登録があった。そのため今後12団体に交付決定を行うこととなり、その点においては、計画どおりに進んでいる。	広報の内容・方法を検討し、広く呼びかけを行うことにより、ボランティア活動の支援を行っていきたい。	企画課

事業名	計画		実績		KPI	H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額			
99 防災対策特別 強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。30件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を3地区以上設立する。 ◆ 社会保険料 388千円 ◆ 賃金 2,520千円 ◆ 旅費 10千円 ◆ 消耗品費 350千円 ◆ 通信運搬費 14千円	3,282	各種団体・集落における研修 14件 ◆ 社会保険料 156千円 ◆ 賃金 1,246千円	1,402	達成率 13%	【評価：D 計画より遅れている】	総務課
100 小地域拠点集 会所等バリア フリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるために拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。5カ所想定 ◆ 400千円(平均助成額) × 5カ所 = 2,000千円	2,000	・1地区実施。事業を活用し、公民館玄関に手すりを設置。 ◆ 助成額 28千円	28	20%	【評価：D 計画より遅れている】 事業完了した1地区のほか、もう1地区が申請し、現在2地区と区は達成できていない。区長会などで具体的な事例を紹介し、実施を呼びかける。	総合福祉課
101 買い物難民対 策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きに、のりあいバス、移動販売、ネットスーパー、宅配サービス等の情報を集約し、必要に応じて情報提供を行い、買い物等不便者の解消を図る。 また、町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス運行事業(平成30年度から週1回運行)の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図る。 ◆ 補助金 320,000円(当初予算)	320	・高齢者支援のための地域支え合いの手引きに記載すべき情報を随時収集し、必要に応じて情報提供している。 ・湯梨浜町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス事業に対し、移動支援事業補助金交付決定を行った。 ・のりあいバスは運行回数が増え、利用者も増加している。 【のりあいバス登録者数】 H30.9.30現在 羽合 7人 泊 19人 東郷 18人 計44人 H30.3.31現在 羽合 7人 泊 15人 東郷 12人 計34人	0	40%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 買物支援にかかるとして、社会資源の把握を随時行った。また、移動手段をもたない高齢者等の移動の利便性を図るため、週1回の運行となった町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス事業への補助金交付決定を行った。	長寿福祉課

事業名	計画		実績		KPI		H31の実施方針	担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		
102 小さな拠点事業の推進	【地方創生推進交付金】 泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取り組みを行う。 地域住民が主体となった協議会により検討、住民説明会等を進め、協議会からの提案書を基に基本計画策定と基本設計を実施する。 ◆協議会運営 315千円 ◆基本計画策定委託 3,914千円 ◆基本設計委託 6,244千円	10,473	5/8第1回協議会 5/16町へ提案書提出 7月委員任期満了による委員募集 8月新委員委嘱 9/11第2回協議会	17	小さな拠点計画の策定	0%	【評価】D 計画より遅れている 計画未策定。コーディネーターとして地域活性化伝道師(内閣府)1名が協議会へ参加し今後計画策定を進める。	みらい創造室
103 ICT推進事業①	行政イントラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 56千円	56	現在11スペース立ち上げ稼働中。 ・Torikyo-Net関係 ・情報政策関係 ・市町村マイナンバー ・市町村LGWAN ・セキュリティソリューション部会 ・次世代エネルギー推進 ・市町村的個人認証 ・情報システム改元 ・電子決済、文書管理システム部会 ・自然公園関係 ・地域情報化関係	0	県等によるスペース(ワークスペース)の立ち上げ件数: 30件	36.7%	【評価】D 計画より遅れている 主要なスペースはほぼ立ち上げられ、現状は頭打ち状態で目標に至っていない。	企画課
104 ICT推進事業②	鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。	1,543	鳥取県と市町村で組織するICT共同化推進協議会の研修会への参加を呼びかけ、電子申請等の業務に対応可能な職員の育成に努めた。(6月 電子申請システム研修 6部署8名参加、9月自治体クラウド研修 2部署2名参加)引き続き、研修への職員参加を呼び掛けていく。 電子申請様式については、現時点で取扱い手続きの増加なし。今後、子育て支援課が手続きの追加を検討しており、他部署にも電子申請の利用を呼び掛けていく。	771	4部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続き5以上の追加	50%	【評価】D 計画より遅れている 研修参加者は、呼びかけにより予定より多く推移しているが、現時点で電子申請手続きの増加なし。今後、各部署に電子申請の利用を呼び掛けていく。	総務課

